

# 令和4年度 北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 1 全国学力・学習状況調査

学年	実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3年	学校	117	78	59	58	2.2	9.5	2.8
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

## 【成果と課題】

### ○全国学力・学習状況調査結果

#### <国語>

大阪府および全国と比較して、いずれの領域においても平均正答数は高い値、平均無回答率は低い値であった。領域別でみると、「読むこと」領域において傑出した高い値を示している。学年で行っている読書教育が一定の成果をあげているものと考えられる。

標準偏差は 2.3 で、大阪府の 3.0、全国の 2.9 より小さな値であった。標準偏差はデータの散らばり具合の指標として用いられ、この値が小さいことは、正答数のちらばり具合が小さいことを意味している。正答数が 50%未満の生徒の割合は 10.0%であった。

#### <数学>

大阪府および全国と比較して、いずれの領域においても平均正答数は高い値、平均無回答率は低い値であった。領域別でみると、「関数」領域において傑出した高い値を示している。

標準偏差は 3.3 で、大阪府の 3.7、全国の 3.6 より小さな値であった。正答数が 50%未満の生徒の割合は 10.3%であった。

#### <理科>

大阪府および全国と比較して、いずれの領域においても平均正答数は高い値、平均無回答率は低い値であった。領域別でみると、「エネルギー」領域において、全国および大阪府と同様に平均正答率が低くなっている。特に物理分野における授業改善を進めたい。

標準偏差は 3.9 で、大阪府の 4.2、全国の 4.1 より小さな値であった。正答数が 50%未満の生徒の割合は 43.0%であった。習熟度別少人数授業を活用し、学習内容の定着に課題がある生徒に対する、よりきめ細やかな学習指導を進めたい。

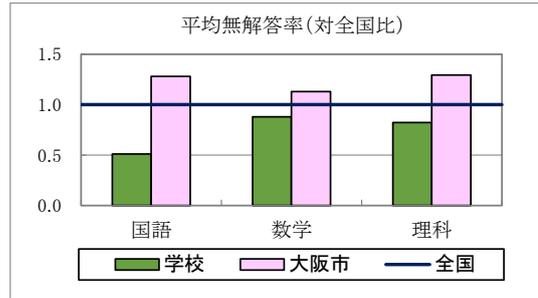
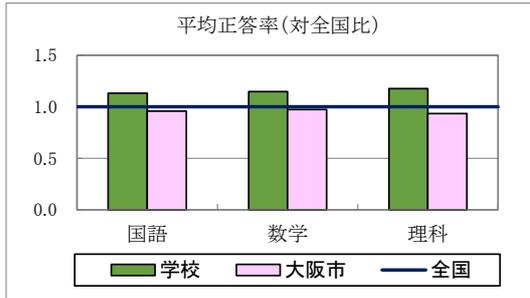
令和4年度 北稜中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	78	59	58
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	2.2	9.5	2.8
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4

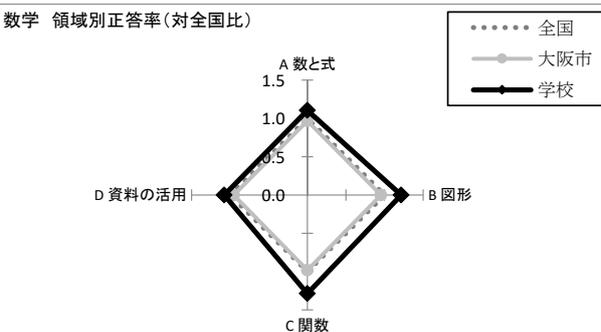
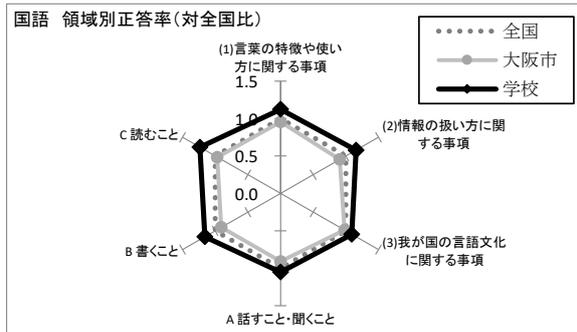
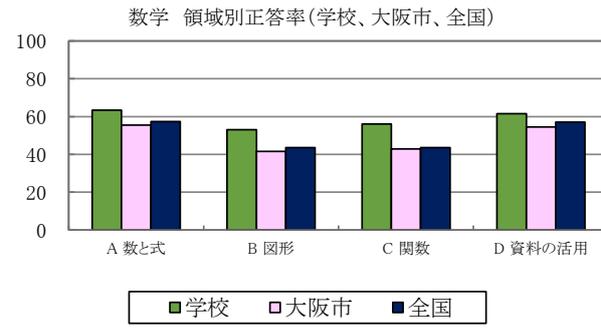
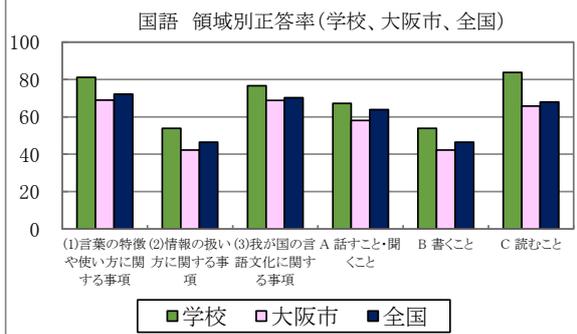


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	6	81.1	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	53.8	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化に 関する事項	3	76.6	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	67.2	58.0	63.9
B 書くこと	1	53.8	42.2	46.5
C 読むこと	2	83.8	65.8	67.9

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	63.4	55.5	57.4
B 図形	3	53.0	41.6	43.6
C 関数	3	56.1	42.8	43.6
D データの活用	3	61.5	54.5	57.1

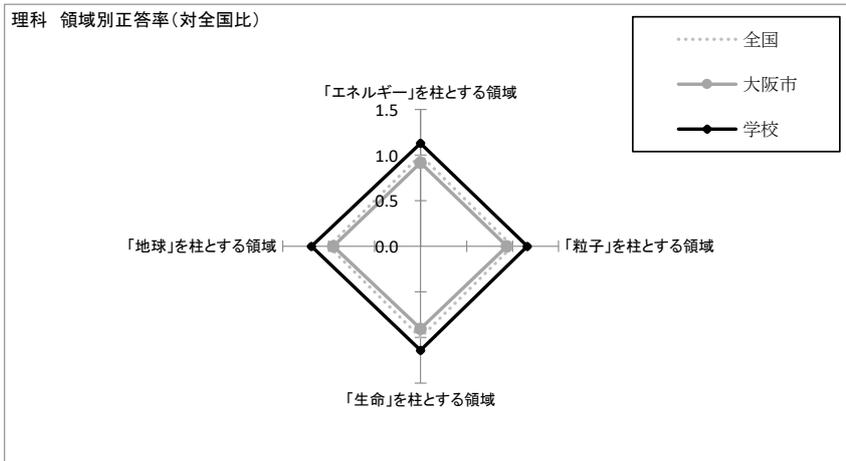
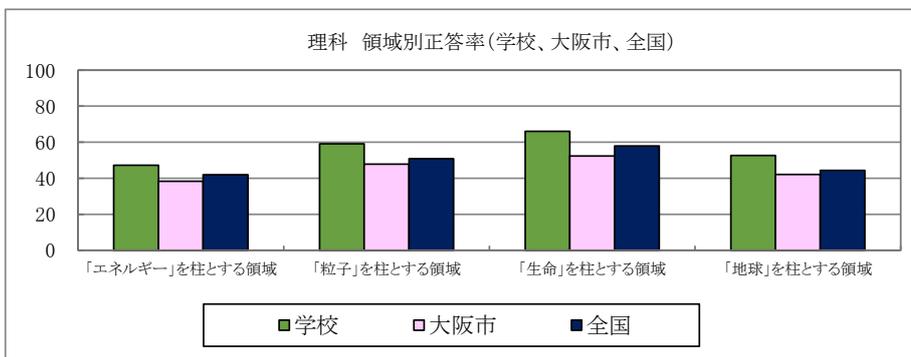


令和4年度 北稜中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理科】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を柱とする領域	6	47.3	38.4	41.9
「粒子」を柱とする領域	5	59.1	47.8	50.9
「生命」を柱とする領域	5	66.0	52.3	57.9
「地球」を柱とする領域	6	52.6	42.1	44.3

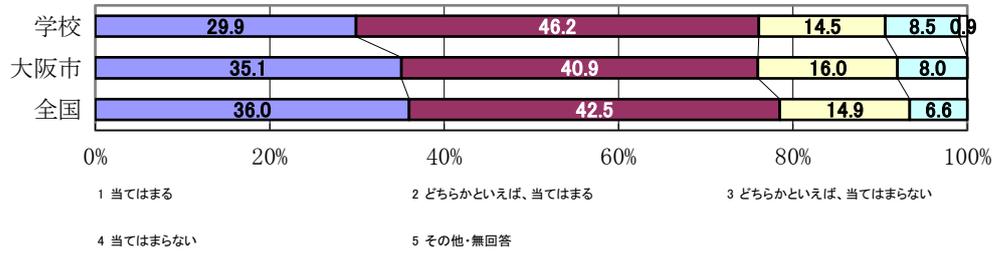


# 令和4年度 北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

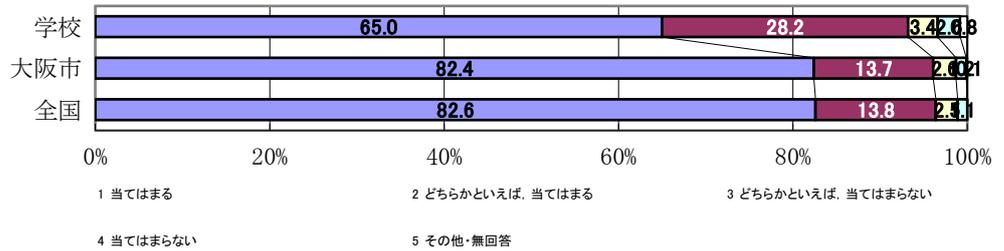
## 生徒質問紙より



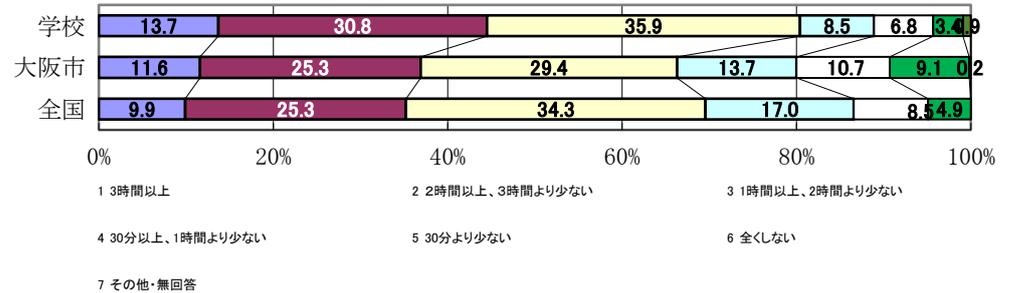
質問番号
質問事項
7
自分には、よいところがあると思いますか



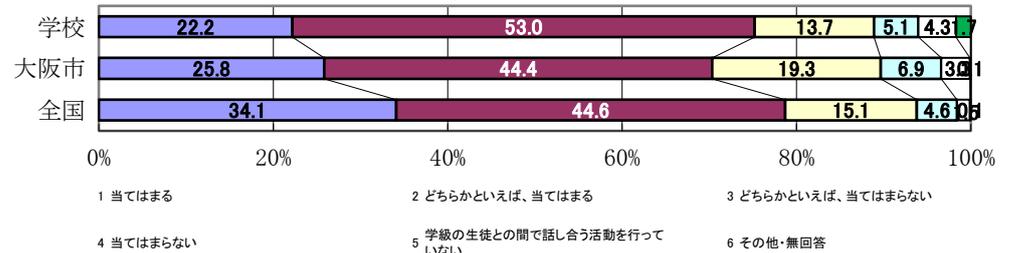
13
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



21
学校の授業時間以外に、普校(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



43
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



48
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

